



個人投資家向け 会社説明会資料

2009年6月5日（金）

1. 会社概要

商号	株式会社フジタコーポレーション (英語社名 : FUJITA CORPORATION Co., Ltd.)
本社	北海道苫小牧市若草町5丁目3番5号
設立	1978年3月
代表者	代表取締役社長 藤田 博章
資本金	3億8,815万円
売上高	89億47百万円 (2009年3月期)
従業員数	159名 (他換算パート雇用者数 956名)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● フランチャイジー事業 (うち、4業態はエリアフランチャイザーとしても事業を展開)● オリジナルブランド事業 (うち、1業態はフランチャイザーとしても事業を展開)



(2009年3月末現在)

3. 展開業態の種類

◆フランチャイジー事業◆

【フードサービス部門11業態】



【メディアサービス部門3業態】



【ウェルネス部門3業態】



◆オリジナルブランド事業◆

【フードサービス部門3業態】



【メディアサービス部門2業態】



(2009年5月末現在 22業態)

**地域の皆様から支持を受け、
信頼される企業でありたい**

**食事
の
提供**

**物品
の
提供**



心の豊かさ



生活総合サービス業

フードサービス
部門

メディアサービス
部門

ウェルネス
部門

3部門にわたる幅広い業態を
「フランチャイジーブランド」と
「オリジナルブランド」との両輪
で展開することにより
「生活総合サービス業」を目指しています。

多業態保有による
出店優位性

多様なFC事業ノウハウ
のPB事業への活用

成長ポテンシャル
の高い構造を確立

トレンド変化の影響を
最小化できる
リスク分散構造

多業態での経験豊かな
人材の店舗運営力

【市場環境】

- 外食業界は市場成熟期へ
- 社会・人口構造等のマクロ的変化と食を取り巻くライフスタイルの変化に伴い、消費者の嗜好性やニーズがより一層多様化
- 「食の安全」、「サービス品質」など、お客様の視点に立った質の高い経営が企業価値の差へ

【経営の方向性】

強みを最大限に活かした事業を推進するなか、顧客満足を高める質の高い経営と競争を勝ち抜く効率経営を両立する基盤を構築していくことで、着実な成長を図る。

築き上げてきた強みを最大限に活用した事業運営を基礎としながら・・・

1 エリア展開

→北海道、東北におけるドミナントエリアの形成

2 人事・組織改革

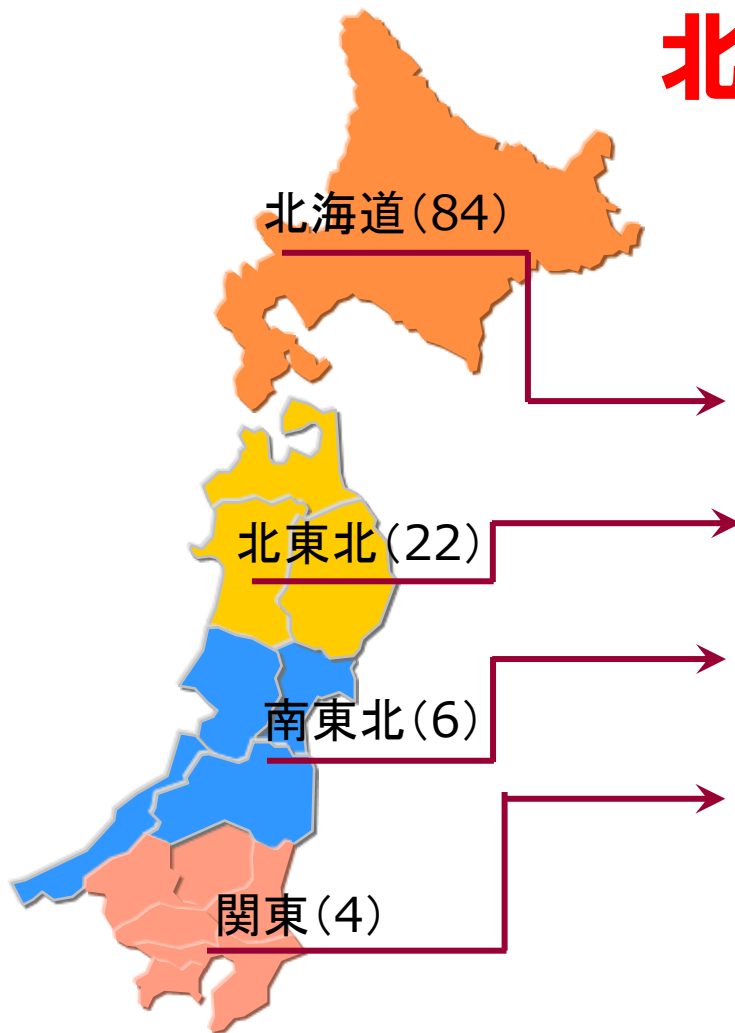
→店舗のサービスと生産性の向上を図る構造改革

3 店舗展開

→高水準の安定収益構造への脱皮



北海道・東北を中心に展開



フランチャイジー事業			オリジナルブランド事業		エリア小計
フードサービス	メディアサービス	ウェルネス	フードサービス	メディアサービス	
合計			合計		81
38	12	8	10	13	
58			23		24
15	0	4	3	2	
19			5		7
4	1	0	1	1	
5			2		4
3	0	0	1	0	
3			1		エリア合計
フランチャイジー事業			オリジナルブランド事業		
60	13	12	15	16	116
85			31		

(2009年3月末日現在)

人事制度の改革～第2フェーズのスタート

第1フェーズ

2006年4月～
人事制度の改革開始

第2フェーズ

2007年10月～
販促・教育部創設

- 採用社員教育
- 店長研修
- 管理職研修

営業部門の改革

- 4つの外食事業部を2つに統合、担当SV制を導入し、店舗指導、運営強化を図る
- 商品部を新設し、外食食材の調達、商品企画を強化
- 販促・教育部を新設し、集中管理によるコスト削減

2006年9月よりスタートした「独立支援制度」により、
2008年3月末までに5店舗が営業を開始



リラックス桑園店



リラックス秋田御所野店



BOOK・NET・ONE富川店

今後の積極的な制度運用により
モチベーションと生産性の高い店舗の増加に寄与

【中長期基本方針】

業態出店戦略

高収益・高効率分野への
経営資源の集中

直営店戦略

スクラップ&ビルドの推進と
ブラッシュアップ

3部門における
基本方針の
徹底的な追求



高水準の
安定収益構造
へ脱皮

●今後の主な出店ブランド



当社オリジナルブランドに経営資源を集中



エリアに集中して出店！
30店体制を目指す。



かつてん第1号店
かつてん北14条光星店
(1996年7月OPEN)

様々なコンセプトによるブラッシュアップ



今後の出店コンセプトの完成

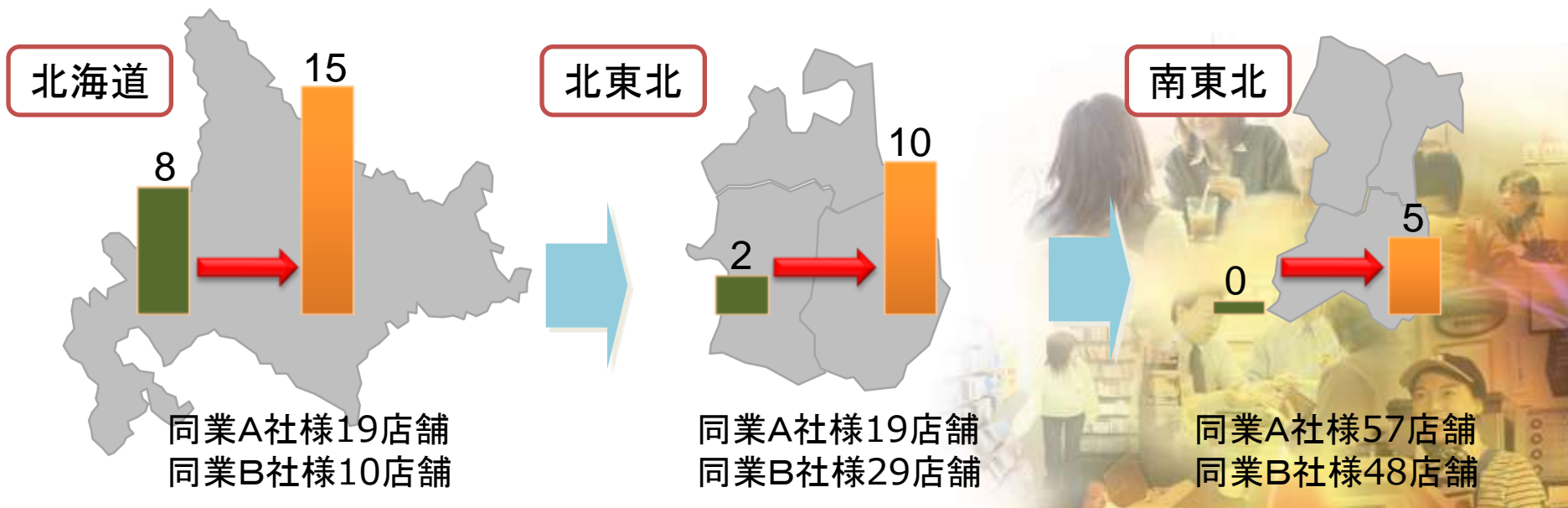


かつてん苫小牧店(2007年7月OPEN)



エリア集中出店によるドミナントの形成
30店体制を目指す。

ドミナント出店による開発出店コストの低減へ





直営・加盟40店体制を目指す。



BOOK・NET・ONE第1号店
BOOK・NET・ONE平岡店
(1999年10月OPEN)

複合出店が可能な業態
安定した収益バランス



リサイクルショップ
NET・ONE複合店



居抜小型店舗の
出店事例



ローカル地域への
出店事例



ミスタードーナツ
との複合店



直営・加盟40店体制を目指す。



旭川末広東店
2008年8月オープン



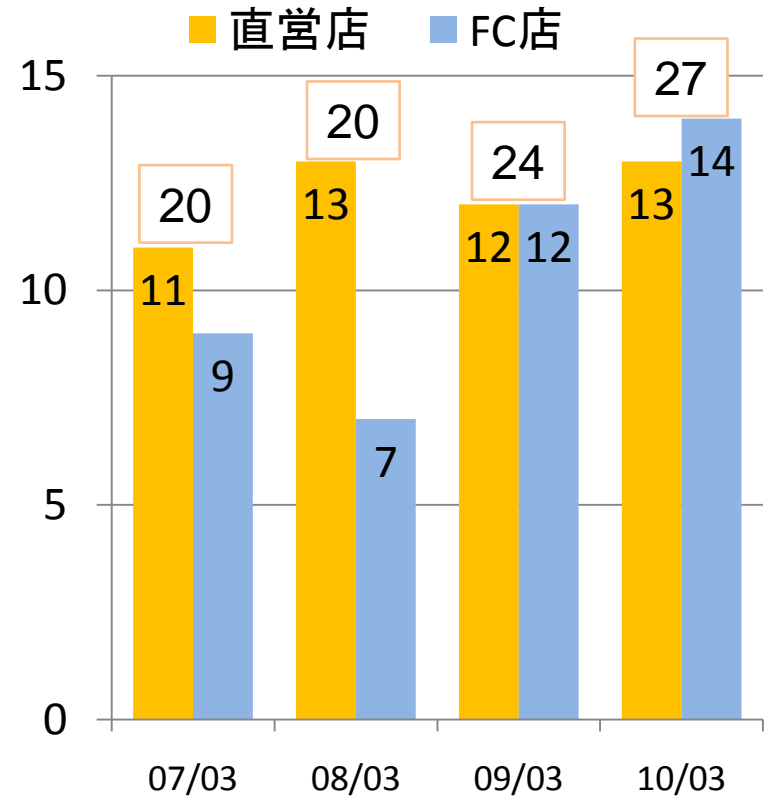
八戸八食センター店
2008年9月オープン



大阪浅香山店
2008年10月オープン



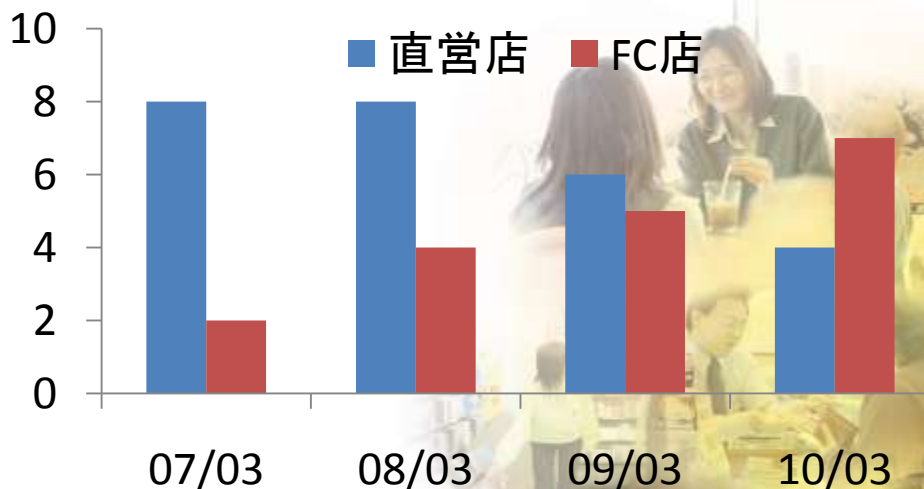
NET・ONE 静内店
2008年11月オープン





フランチャイズ化を進める

従業員独立制度により、
直営からフランチャイズへの転換



●直営店活性化プラン

リニューアルの実施

- お客様の来店促進
- 従業員のモチベーションアップ

モスバーガー苫小牧店
ミスタードーナツ北14条光星ショップ
ミスタードーナツルーシー大谷地ショップ
ミスタードーナツ八戸六日町ショップ
かつてん江別店
TSUTAYA北14条光星店

ミスタードーナツ宮の森ショップ
ミスタードーナツ新札幌デュオショップ
ミスタードーナツ苫小牧バイパスショップ
ミスタードーナツ厚別サンピアザショップ
ミスタードーナツ盛岡肴町ショップ

店舗リニューアルを積極的に実施



後

緑MOSに改装。
100席保有のMOS苫小牧店



前



後

ミスタードーナツ
ルーシー大谷地ショップ



前



後

かつてん江別店



前

スクラップ&ビルド事例




MD八戸六日町ショップ



MD八戸南類家ショップ
2007年10月移転オープン



情熱ホルモン八戸六日町酒場
移転後、空いた物件に出店



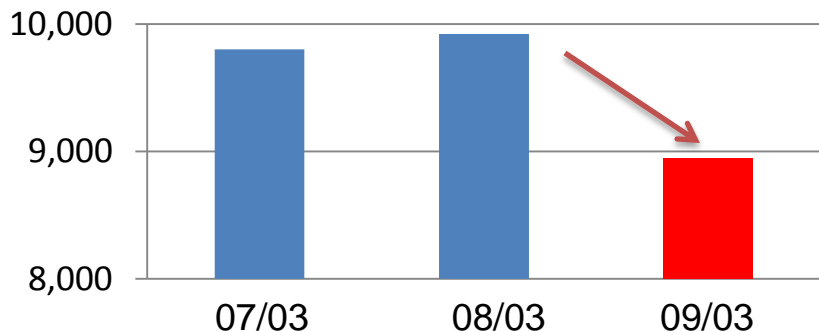
2009年3月期 決算概要

(2008年4月1日～2009年3月31日)

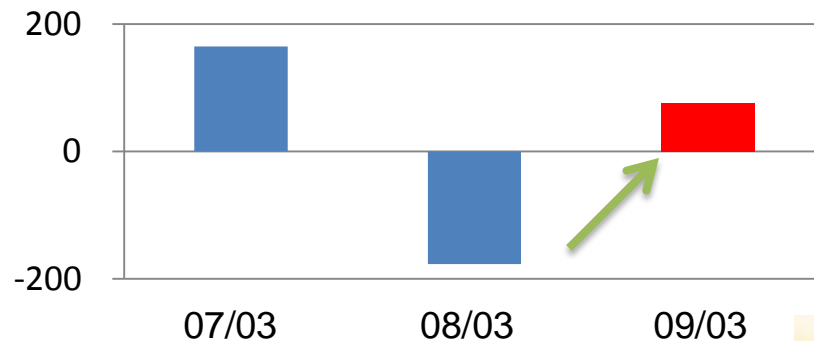
1. 2009年3月期 決算ハイライト

- 収益改善を目的に行った店舗スクラップの効果により、減収増益の結果となり、収益力が回復傾向となった。
- 役員慰労金制度の廃止等による特別利益の計上により当期純利益が増加した。

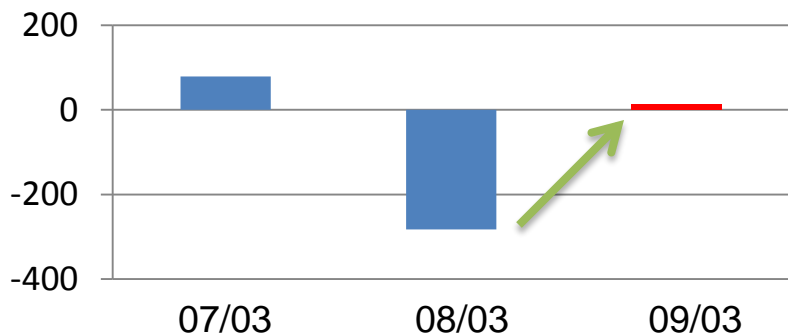
売上高



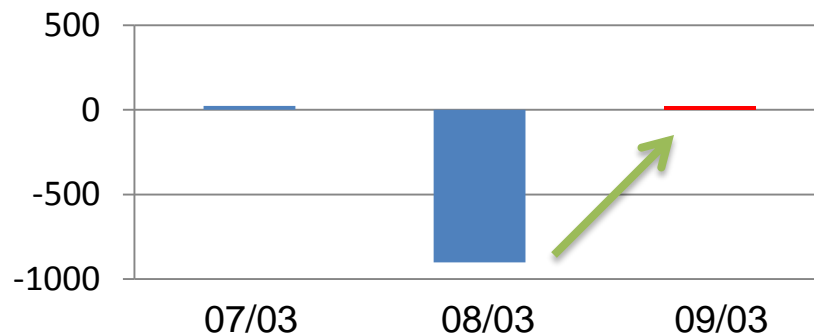
営業利益



経常利益



当期純利益



2. 2009年3月期営業施策

1. 不採算店整理の完了

前期からの立て直し整理により
151百万円の利益改善
(当期は12店舗の閉鎖を予定。)

2. 既存店の立て直し

業務体制の見直し改善により
82百万円の利益改善
(業務集約による、スピードアップ)

3. 運営コストの削減

部署統合、仕入見直等により
89百万円のコスト削減

営業施策合計322百万円の利益改善計画に対して、

当期は15店舗の閉店を実施。
計画達成率91.9%の
296百万円の改善がなされた。

3. 2009年3月期 決算概要

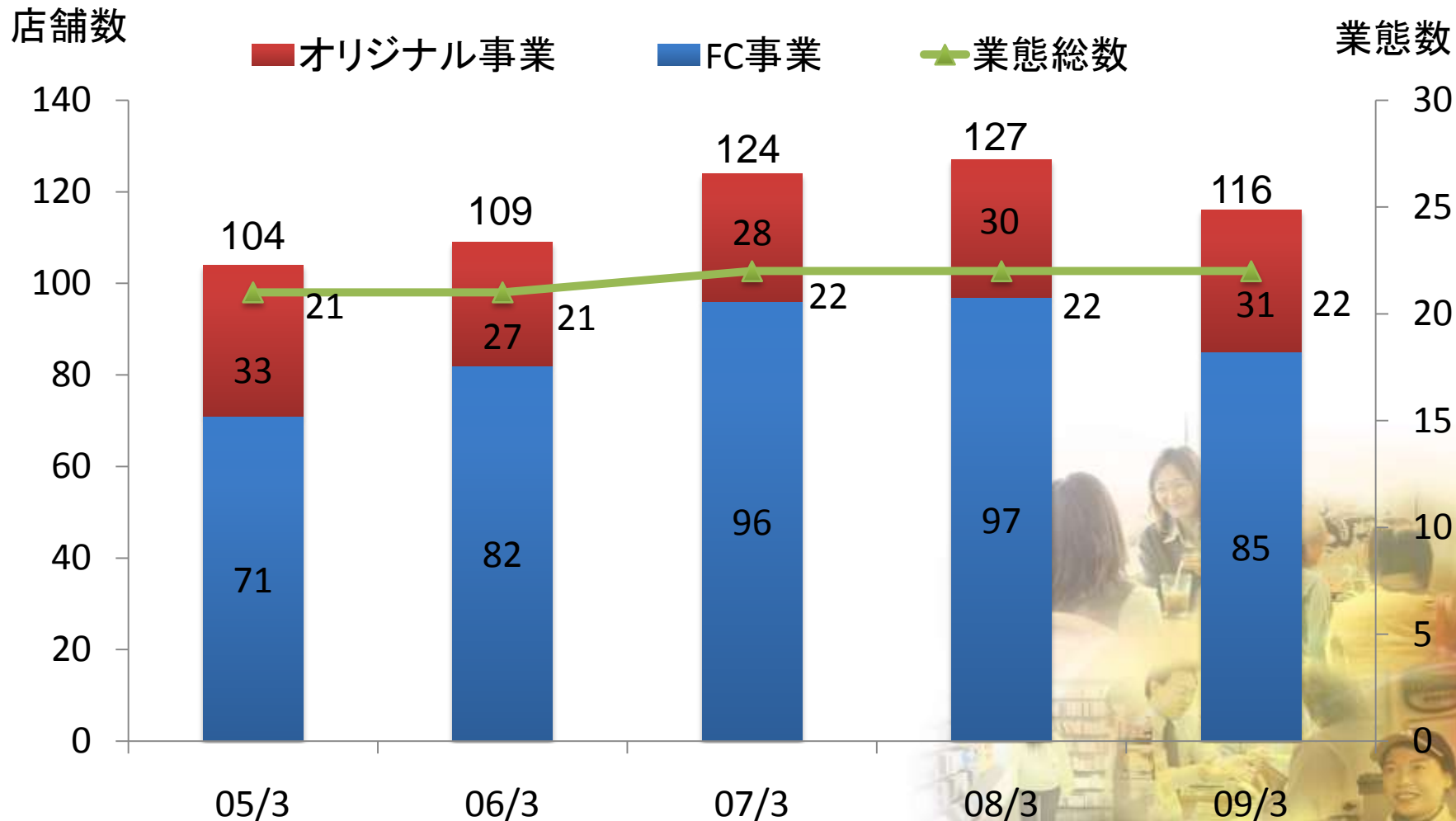
単位: 百万円		2008/3	2009/3	前年比	
				増減	%
売上高		9,923	8,947	-975	90.1%
	フードサービス	5,596	5,001	-595	89.3%
	メディアサービス	3,980	3,632	-347	91.2%
	ウエルネス	346	313	-32	90.4%
売上原価		4,228	3,746	-482	88.5%
	フードサービス	1,776	1,624	-151	91.4%
	メディアサービス	2,215	1,893	-322	85.4%
	ウエルネス	236	228	-8	96.2%
	売上総利益	5,694	5,201	-493	91.3%
	販売管理費	5,871	5,124	-746	87.2%
	営業利益	-177	76	253	-
	経常利益	-283	13	296	-
	特別利益	74	103	28	139.1%
	特別損失	605	93	-511	-
	当期純利益	-902	20	922	-

不採算店舗のスクラップによる売上減少



収益力の大幅回復

4. 直営店舗数と業態数の推移



6. 2010年3月期の見通し

	2009/3(実績)		2010/3(予想)	
	金額 (百万円)	前期比 増減率(%)	金額 (百万円)	前期比 増減率(%)
売上高	8,947	-9.8	8,667	-3.1
売上総利益	5,201	-0.08	5,058	-2.7
売上総利益率	58.1%	0.7	58.3%	0.20
営業利益	76	-	109	43.5
売上高営業利益率	0.84%	2.64	1.26%	0.42
経常利益	13	-	17	34.3
売上高経常利益率	0.14%	3.04	0.20%	0.06
当期純利益	20	-	5	-74.8
売上高当期純利益率	0.22%	9.32	0.05%	-0.17

* 斜体は前期比増減%ポイント

当資料に記載された内容は、2009年6月5日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、実際の業績は、当資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。